

ほ ほ え み

桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号
電話番号 0277-44-7171(代) FAX 0277-44-7170
URL <http://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



平成22年 年頭の挨拶

院長 まる た さかえ
丸 田 栄

新年明けましておめでとうございます。
本年も皆様にとって充実したすばらしい年でありますように、
そして病院が益々発展できますように、心より願っています。



当院は、昨年 DPC 対象病院(*)になり、今後も急性期病院であるために経営効率の改善に着手しました。また、桐生市・みどり市の皆さんや地域医師会の先生方の強いご支援もいただき、病院収益は徐々に改善が見えて来ました。

これからの医療では、多彩な病状に則した個別的で納得の診療、慢性や重症例を忍耐強く診る総合的なチーム診療、急病人を担当する救急医療、患者さんや家族を支える丁寧な医療サービスなどが重要とされています。そこで高齢者比率が高く、将来受療者数の減少が見込まれる当院がこうした医療に^{いど}挑み、今年を信頼される、かかりたい病院へと評価を高めていく契機にしたいと考えます。そして職員一同生き残りを掛けた病院の進むべき方向を理解し、一人ひとりが力を合わせて未来に向けた病院改革に取り組むことを期待します。

また、当院では依然一部の領域で医師、看護師などが足りません。そのために、関係する医療・教育機関との連携を図り、医師、看護師などの病院独自の勧誘活動も行い、診療科の拡充、余裕のある職場への整備を進めて、働きやすい病院を実現したいと考えます。

市民の皆様にご理解して欲しいことがあります。非常に忙しい混乱した夜間、休日外来は、医療者の過重負担であり、病院崩壊を招く危険を^{はら}孕みます。如何にしても防がなくてはなりません。救急医療の趣旨に沿った節度ある受診をよろしくご配慮ください。

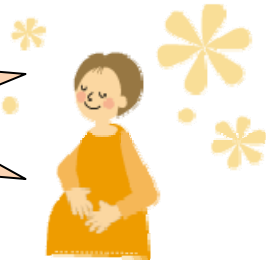
桐生市・みどり市の皆様、今年も市民の健康を支える基幹病院として職員一同皆で頑張ります。応援宜しくお願いいたします。



(*) DPC対象病院とは…入院医療費の算定方法が、患者さんの病名や診療内容に応じた包括・出来高併用の請求方式であり、厚生労働省に認可された病院のことです。



助産師外来開設



4階西病棟看護師長

あまがさ のりこ
天笠 典子

助産師外来の ご案内

妊婦生活・お産・育児のこと… 助産師とゆっくり話してみませんか？

外来で聞きたくても聞けなかったことや、ゆっくり話せなかったこと、疑問・悩み・相談にお応えします。

■健診時間・場所
毎週水曜日 午後2:00～5:00 産婦人科外来にて
1人30分の完全予約制

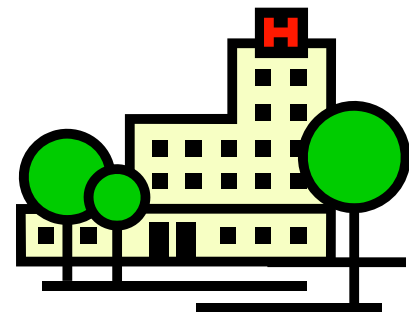
■健診料
通常の健診料と同じ

■対象となる方
妊娠経過に問題がなく、担当医師の許可のある方
合併症のない方
既往歴に問題のない方が対象となります

■健診内容
尿検査
臨床検査技師による超音波検査
産婦人科外来にて血圧測定、体重測定、
子宮底・腹囲測定
赤ちゃんの心音聴取
保健指導

助産師一同、心よりお待ちしております

お問い合わせ先
桐生厚生総合病院産婦人科外来
TEL 0277-44-7171 内線334



私達が
担当します！





循環器科 医師紹介

循環器科診療部長 むらおか まさと
村岡 理人



本年 10 月 1 日より循環器科に赴任しました『村岡 理人』と申します。
桐生市出身で、高校卒業後 27 年ぶりに戻ってきました。
これまでは、東京・埼玉・神奈川・千葉の大学病院や国立病院・民間病院等で診療を行ってまいりました。

桐生厚生総合病院では、狭心症や心筋梗塞といった心臓の栄養血管が狭くなったり閉塞したりしてしまう病気、脈の遅くなってしまう病気（徐脈）、心不全の方や手足の血管が狭くなったり閉塞したりしてしまう病気の患者さんを中心に、カテーテルやペースメーカー・血管手術などで診断や治療を行ってまいります。

内科や外科など他科の先生方とも密接に連携しながら、少しでも地域医療のお役に立てればと考えています。

心臓や血管の病気でお悩みの方やお困りの方がいらっしゃいましたら、循環器科外来をぜひ受診してみてください。

診療所や他施設の先生方に於かれましても、該当される患者さんがいらっしゃいましたらご紹介のほど宜しくお願い致します。



理学療法士 PT
作業療法士 OT
言語聴覚士 ST

私たちリハビリテーション科の中の『言語聴覚士（Speech-Language-Hearing Therapist … ST）』について簡単に紹介いたします。

当院の言語聴覚士（2名）の業務をひとことと言うと、コミュニケーションと食事に障害のある方へのリハビリテーションです。

具体的には、言いたい言葉が出て来なくなったり、聞いたり読んだりしたことの意味がわからないといった「失語症」や、舌・唇など話すときに使う器官の運動障害があるために、呂律が廻らない状態になる「構音障害」に対するコミュニケーション練習。食事の際にうまく飲み込めない、ムせてしまって食べられない「嚥下障害」に対する嚥下練習など、脳血管疾患の後遺症をもった患者さんを対象としています。



特に近年では、周辺地域の高齢化が進み、様々な内部疾患をかかえた嚥下障害の患者さんも増えて来ている事もあり、当院 NST（栄養サポートチーム）委員会への関わりも増え、飲み込みやすい食事形態や食べる時の注意事項などをメンバーと検討し提案しています。

しば しゅんすけ
斯波 俊祐



【スタッフ】

現在、4人の常勤医と2人の非常勤医で診療に当たっています。

専門は2人が^{せきつい}脊椎外科、1人が^{ひざかんせつ}膝関節外科、1人が手の外科です。

また、ほとんどの患者さんはリハビリテーションを必要としますので、リハビリテーションのスタッフとも毎週カンファレンスを行い、連携して治療に当たっています。

【整形外科疾患】

整形外科は、四肢と脊椎の疾患を対象としています。外傷が中心となりますが、変性疾患（加齢によるもの）や炎症、腫瘍など多様な疾患が含まれます。一般の方にはなじみが薄いように思われがちですが、厚生労働省の調査結果によると、外来患者さんの訴えの1, 2, 3位は、腰痛・関節痛・肩こりと整形外科疾患に関連する症状であり、実は私たちの生活に密着した疾患を治療する科です。

外傷は、交通外傷やスポーツ外傷など種々ありますが、最も手術件数が多いのは、骨粗鬆症による高齢者の^{だいたいこつげいぶ}大腿骨頸部骨折です。骨折や脱臼に加え、軟部組織（皮膚、筋肉、腱、神経、血管）の外傷の治療を行います。

外傷以外の代表的な疾患は、^{ようついついかんばん}腰椎椎間板ヘルニア、^{せきちゆうかんきょうさくしやう}腰部脊柱管狭窄症、変形性膝関節症、変形性股関節症、関節リウマチなどがあります。

整形外科は、これらの疾患に対して、保存的治療（薬による治療、ギプスや装具による治療、運動療法など）や手術を行っています。

手術は、年々進歩し、早期にリハビリテーションが始められるような手術が多くなってきています。また、より^{ていしんしゆう}低侵襲の手術が開発されてきています。関節鏡は、すでにスタンダード手術になっていますが、脊椎の手術にも内視鏡が使用されるようになってきています。

【最近の話題】

日本は、世界一の高齢化社会を迎えていますので、今後高齢者の数は益々増えて高齢者の運動器疾患は増加すると思われれます。癌・脳血管障害・心臓疾患などとともに、運動器疾患に対する認識を高めていく必要があると思われれます。高齢者になっても生き生きとした生活を送れるようにするには、運動器疾患の予防が大切です。運動器の障害のために要介護となる危険性の高い状態を、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）と呼んで、その自己点検法や予防法が提言されています。

5つのロコチェック

- 片脚立ちで靴下がはけない
- 家の中でつまずいたり滑ったりする
- 階段を上るのに手すりが必要である
- 横断歩道を青信号で渡りきれない
- 15分くらい続けて歩けない



ひとつでも当てはまれば、ロコモの心配があります。腰や関節の痛み、筋力の衰え、ふらつきといった症状が、最近悪化してきている場合などは、まず医師の診察を受けましょう。

予防には…

今日からロコモーショントレーニング(ロコトレ)を始めましょう！

開眼片脚立ち、スクワット、ストレッチ、関節の曲げ伸ばし、ラジオ体操、ウォーキングなどいろいろな運動を体調に合わせ積極的にいきましょう。

運動中は、無理に試して、転んだりしないようにご注意ください。



「第5回 市民公開講演」を開催します。

—乳がんについて—

平成21年度

がん診療連携拠点病院強化事業

第5回「市民公開講演」では、乳がんの検査や診断・治療等について、お話いたします。
お誘い合わせのうえ、多数ご参加ください。

と き

平成22年2月27日（土）

14:00～16:00（開場 13:30）

ところ

桐生地域地場産業振興センター第2ホール（3階）

※桐生市市民文化会館の駐車場をご利用ください

参加費

無料 参加自由

（事前申し込み不要）

プログラム



座長： かとう けんじ 加藤 健司（桐生厚生総合病院 副院長兼外科診療部長）

講演： まちき ゆういち 待木 雄一（桐生厚生総合病院 外科診療部長）

「乳がんについて」

うえはら みなこ 上原 美奈子（桐生厚生総合病院 5階西病棟看護師長）

「当院の乳がん患者さんに対するサポート体制について」

いしかわ ともこ 石川 智子（桐生厚生総合病院 地域医療連携室社会福祉士）

「相談支援センターについて」



問い合わせ

地域医療連携室 TEL 0277-44-7150

相談支援センター TEL 0277-44-7165

（問い合わせ時間：平日 9:00～16:00）



《基本理念》

向学心と優しさに満ちた医療

《基本方針》

1. 私たちは、患者さんの人権を守り、患者さん中心の安全で優しさに満ちた医療を行うよう努めます。
2. 私たちは、日々研鑽し、患者さんに良質で高度の医療技術と医療サービスを提供するよう努めます。
3. 私たちは、地域中核病院として、他の医療機関との連携を推進し、地域医療のニーズに応えるよう努めます。
4. 私たちは、地域に密着した医療を提供し、地域住民の厚い信頼を得るよう努めます。

（※外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。）